

【共通価値の共有で地域と世界がつながる SDG s (持続可能な開発目標)の推進について】

① 2015年の国連総会で採択された「2030 アジェンダ」の前文の抜粋を紹介。

「このアジェンダは、人間、地球及び繁栄のための行動計画である。これはまた、より大きな自由における普遍的な平和の強化を追求ものでもある。我々は、極端な貧困を含む、あらゆる形態と側面の貧困を撲滅することが最大の地球規模の課題であり、持続可能な開発のための不可欠な必要条件であると認識する。

今日我々が発表する 17 の持続可能な開発のための目標 (SDGs) と、169 のターゲットは、この新しく普遍的なアジェンダの規模と野心を示している。これらは、すべての人々の人権を実現し、ジェンダー平等とすべての女性と女兒の能力強化を達成することを目指す。これらの目標及びターゲットは、統合され不可分のものであり、持続可能な開発の三側面、すなわち経済、社会及び環境の三側面を調和させるものである。」とあります。

② 公明党の考え方

我々公明党は、真の人間主義に立脚し、どこまでも人間から出発する社会、人と地域が輝く社会をめざしています。だれ人も素晴らしい個性・能力・創造性等の大いなる可能性、「人間力」を秘めています。国民一人ひとりの「人間力」の十全な開発と発揮こそ国力の源泉であり、イノベーションや文化創造の根本であるとの視点にたっております。

※今回の質問に当たり、SDGs の推進体制を構築している静岡県、さらには外務省と意見交換を実施。

資料①

SDG s には、普遍性、包摂性、参画性、統合性、透明性の 5 つの特徴

資料②

SDG s ロゴ

資料③

17 の目標 (ゴール)。さらにそれぞれの目標に紐づく形で 169 のターゲットがある。

資料④

国内外の動向。

資料⑤

政府によるこれまでの取組。

※伊勢志摩サミット首脳宣言の抜粋を紹介

・・・我々は、平和と安全、開発及び人権の尊重が相互に関連し合い、かつ、補強し合うものであることをよく認識しつつ、17 の SDGs の、統合された不可分の性質を強調する・・・。

※2017年6月の第3回会合では、安倍総理が次のように発言

特に3点、

第一に働き方改革の実現。インクルーシブな一億総活躍社会を目指し、長時間労働の是正など SDGs の考え方になう改革を進めて行く。

第二に地方での SDGs の推進。まさに地方創生の実現に資するものである。

第三に民間セクターによる取組の推進。SDGs の達成は企業にとっても大きなチャレンジであり、ビジネスチャンスとなる、と。

この時、「まち・ひと・しごと創生基本方針 2017」が閣議決定され、「地方公共団体における持続可能な開発目標（SDGs）の推進」が盛り込まれた。

昨年実施された「第1回ジャパン SDGs アワード」へは 282 の企業団体が応募も県内からは応募がゼロ。

資料⑥

民間企業による SDGs の取組

資料⑦

SDGs の視点を活用した「滋賀県基本構想」の紹介。

静岡県においては、副知事を筆頭とする庁内推進体制が構築。

大阪では大阪万博の開催に向けて、全庁的な推進体制が構築。

資料⑧

エンタメ業界との連携による SDGs の主流化に向けた取組。

静岡県では今年東京ガールズコレクションが静岡で開催されることを受けて、国連とタイアップして啓発を計画。

資料⑨

政府の8分野での取組。

資料⑩

健康長寿の取組を SDGs の視点から表現。

さらなる関係性や課題が見える化され、SDGs の共通の目標のもと、共有が図れる。

③ 「協創」(協働と創造)の観点から

採択された 2030 アジェンダを見てみると、「我々」という言葉が何度も出てくる。この我々は我々一人ひとりを指し示すものであり、国際社会の一人ひとりが共有する事で目標が達成されるとするものです。

現に政府の SDG s の広報・啓発活動では、国民の運動として取り組むとしている。よって県民に対して SDG s をどのように共有していくのかも大切。SDG s が「県民力による『協創』のみえづくり」に資するものであると考え、まずは県として SDG s に対する評価に向けて議論を要望。例えば経営戦略会議にて。

サミットのレガシーを有する三重、ダイバーシティみえ推進方針を全国に先駆けて策定した三重だからこそ、SDG s に対する評価を期待。さらには世界と地域・県民がつながる事による有形無形のイノベーションが SDG s によって産まれることを期待。